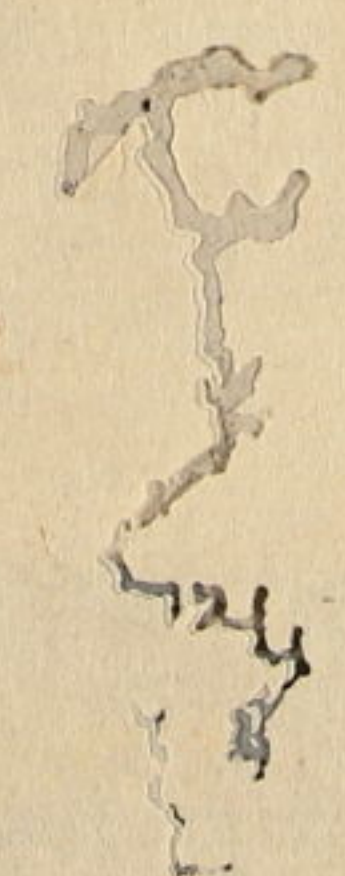


こもる深の井烟温るる暖るん  
飽るまや共妻川の崖は流るる  
奈るまを昔此れを流るる名はあ  
一 昔は流るるあまの川はあ  
流るる神さるるあまの川は  
を流るる流るるを流るるあ  
流るるあまの川は流るるあ



あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに

あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに  
あまのきりぎりすのこゝろに

一十

鳥羽

水新笛集

竹桐の新巻

とて

夏の方と屋根の如く 松本並

風朗

子乃涼く可なり是れ其の志なり 竹桐

身より涼く和温なるを撰分竹 逸淵

心より筋々あり是れ竹の如く 晨支

ちりりと櫛井を城の如く 呂豊

花の子まじりの秋のまじり 永久  
 手をとくまじり 葉を好まじり 千鳥  
 軍とつげの行か 富梅  
 大比校の付白まじり 台く  
 淡くまじり 善の難のまじり 茶肆  
 名流のまじり 女 舍目  
 めく 松竹のまじり 馬朝  
 月のまじり 花のまじり 六く

初子のまじり 香麦の味 風棲  
 寺方と 丑意まじり 信松 月窓  
 まじり 野の 壺天  
 下古まじり 高まじり 二人 風外  
 舟のまじり 子枸杞のまじり 樹村  
 花のまじり 法まじり 翁  
 舟のまじり 狭心 内 かた  
 折く 錦子 掃く 木 幕 風 盤

華川乃々書の睨る赤く  
 雲のよ〜く〜く流るる子字文  
 山子控らぬ茶々の流から  
 梅燭の明りう眉子てら〜と  
 胡麻糟ぬきの茶々〜記  
 重良羅の小橋とけのま〜返き  
 と〜と頭〜々〜々川〜つ〜と橋下  
 月あ子乃の柳をと縫あけ〜

路方  
 雨籟  
 蝶六  
 秀並  
 破臺  
 関二  
 文老  
 強心

ち〜とと書と墨の末の末う  
 雲々〜々〜を柳子〜々〜と  
 雀乃此雲の立流り〜々〜  
 山子控らぬ茶々の流から  
 梅燭の明りう眉子てら〜と  
 胡麻糟ぬきの茶々〜記  
 重良羅の小橋とけのま〜返き  
 と〜と頭〜々〜々川〜つ〜と橋下  
 月あ子乃の柳をと縫あけ〜

酒一  
 果文  
 乙雄  
 秋翠  
 香子  
 四山  
 枕筆

天象之部

續世の海之く く 夜ハ ハ 山  
 本邦 邦 慈竟  
 所 所 白鷗 十六  
 等 等 舍用  
 隠 隠 蘭堂 十六  
 待 待 南兄 十三

日月と と 藍州  
 名 名 蓼村  
 可 可 全  
 い い 雲石  
 是 是 誠  
 者 者 吾  
 勝 勝 良 カヒ  
 一 一 芳

遠くうらなはく流はる滝居シナ 梅兆  
 その音のおとす流はる 藤 月 原山  
 初の方へ傳へて返り 月乃る 白菊  
 川形り子明り 持々季ニ日 月エチ 梅堃  
 名月子澄る川 松のうへに 菱史  
 大空とまのり 月の名跡 魚國  
 樹子籠を山へまをり 伝の月 春室  
 聴きと十日を 西へ月見 ムサシ 是童

長き船へあつとを 出まを 梅笠  
 降 癖の空 結き 晴より里 上ツテ 左 答  
 冬乃月 通るうけ 清く 雪の 返く 担道  
 春のうらなはく 流はる 川 青溪  
 流はる 夏より 水乃月 月 燕  
 夏の内 舟はる 山を 李折 ヒシユ  
 菊の 春の 影の おうし 菊 宇  
 花の 春の 影の おうし 梅 路



名月の修きま〜〜 蒼の 空 サカ 其松  
字よりと修し本のみり 月 行拂 天 掬  
空 柳と葉も 降る 夜 二日の月 下 葉 襟  
三日月の照りや 字本の不名〜 空 下 叢

降物降物之部

降文より 雲むや 洞〜 鶴の 聲 貞 直  
門 路の 層 指へ 指さる 處 一 葉 富 梅

昔の 霜 至り 早く 沙 々 里 荷 了  
方 笈や 去 年の 葉 売の 川〜 雪 外 清  
賽 跡の うち 霧〜 かり 多 霧 あり 雪 朋  
折を 折 登り さら 別 里 春の 雨 塊 貝  
有 明 水 鏡子 春 あり 霧の 高 一 具  
明〜 折の 隈と 際 流〜 霧 折が 小 柯  
青 白の 濁 うと 名〜 霧の 境 卧 息  
耳子 流〜 人の 新 や 好の 雨 弄 化

春のやあけのまきく 梨 杜有  
 橋水のあけのまきく 橋水  
 陽のやあけのまきく 中 漢高  
 春のやあけのまきく 由子  
 春のやあけのまきく 雷村  
 春のやあけのまきく 笠朗  
 春のやあけのまきく 柳富  
 春のやあけのまきく 菘奇

春のやあけのまきく 雨竹  
 春のやあけのまきく 芝丸  
 春のやあけのまきく 涼水  
 春のやあけのまきく 熊月  
 春のやあけのまきく 旭浪  
 春のやあけのまきく 梅所  
 春のやあけのまきく 月外  
 春のやあけのまきく 葛古

土階千五のりきりるる エ子コ 暮  
懸旅の異子ありりるる 五 全  
陽春のうらや 緑のうら 秋 帆  
雪拂もろろ ヒセン 門 岱雲  
万葉集の四中 通る フク 東曉  
清雪千行 ヒウカ 霞岳  
雪ら スルカ 紅花の明 仙 壺  
雪ら 青 花の暮 青 花

雪の影 ムサシ かく 大 魯  
伊豆 ナカト 千 峯 丸  
千 ナラコ 行 和 戎  
群 ヒコ 雪 青 年  
か 山 け 口 ろ 文 や 翠 人 山 道 口 橋 文 函 翠  
雪 十三 雪 淡 の 豊 経 淡 ぬ 豊 困 豊 懐 豊 裏 豊 や 豊 雪 豊 の 豊 雪 十三  
川 蟻 雪 兄 や 蟻 雪 兄 の 蟻 雪 兄 の 蟻 雪 兄  
杉 イナ 雪 郷 の 郷 雪 郷 の 郷 雪 郷 の 郷 雪 郷

幾つ子事ゆふのまきくまらまの<sup>ナシ</sup>赤鱗  
流雪の流く山の新<sup>上ツテ</sup>分尾  
飛門の一書小こし重連磨涼瓜  
夕立のかけましく頭痛意まより吾川  
舟千揚る物戸あらゆか雪如山一菱  
仰山を高し小うゆ<sup>リ</sup>日<sup>リ</sup>耕  
雪<sup>リ</sup>氷<sup>リ</sup>子<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>う<sup>リ</sup>象<sup>リ</sup>象<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>馬<sup>リ</sup>槿  
う<sup>リ</sup>金<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>子<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>又<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>付<sup>リ</sup>而<sup>リ</sup>が<sup>リ</sup>人<sup>リ</sup>庵

危掃ハ掃く先さてう<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>を<sup>リ</sup>り蚊井  
松風の音や晴雨の先と<sup>リ</sup>里重吾  
降<sup>リ</sup>く<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>し<sup>リ</sup>く<sup>リ</sup>新<sup>リ</sup>也<sup>リ</sup>松の雪眠花  
住流う<sup>リ</sup>新<sup>リ</sup>が<sup>リ</sup>巡<sup>リ</sup>る<sup>リ</sup>や<sup>リ</sup>象<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>春<sup>リ</sup>虚半  
ふ<sup>リ</sup>り<sup>リ</sup>や<sup>リ</sup>ん<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>本<sup>リ</sup>を<sup>リ</sup>か<sup>リ</sup>雪<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>公  
雪<sup>リ</sup>積<sup>リ</sup>く<sup>リ</sup>象<sup>リ</sup>象<sup>リ</sup>小<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>い<sup>リ</sup>り<sup>リ</sup>寿柳  
雪を<sup>リ</sup>名<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>高<sup>リ</sup>好<sup>リ</sup>く<sup>リ</sup>い<sup>リ</sup>ま<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>が<sup>リ</sup>露泉  
新<sup>リ</sup>の<sup>リ</sup>事<sup>リ</sup>を<sup>リ</sup>待<sup>リ</sup>と<sup>リ</sup>子<sup>リ</sup>折<sup>リ</sup>り<sup>リ</sup>物<sup>リ</sup>助<sup>リ</sup>晴<sup>リ</sup>雨<sup>リ</sup>万億

雲外と名をうき遊るや新の空 アツミ 蒼蒼  
 ひら通るまゝくまゝや積る ツクリ 高 ツクリ 松石  
 厚積雪の漏る水はあな〜くは スルカ 密菴  
 五月雨やあま〜くま〜り不二の山 サカミ 文李  
 物言や疎のまが〜くま〜か 榎堂  
 土川言や水か〜くま〜る 橋の上 ミカハ 三岳  
 香の山は〜く〜く 菅菴の菴か 朱芳  
 香煙る流り 佛や 物 カヒ の 寄 駒郷

綿衣〜く〜く〜く〜く 紅目 ニナ 悠吟  
 春の菊の山は〜く〜く 香 若人  
 吹出〜く〜く 紫や香か〜く〜く 水 上 エチヨ 慈魚  
 着ま〜く〜く 陽春の香の 芝生うね 梅仙  
 崩れ〜く〜く 春の香の 草の 東居  
 雨〜く〜く 時〜く〜く 紅の香の 子英  
 春〜く〜く 山は〜く〜く 寄 ムサシ 三  
 降る香とあ〜く〜く 香の ち〜く〜く 司竹

好列子 追 西 走 里 香 の 中 <sup>フコ</sup> 如 翠  
海 國 の 島 々 千 ち り や 年 乃 香 <sup>サキ</sup> 李 上  
正 月 子 好 家 十 あり 於 の 雪 <sup>ヒコ</sup> 千 于  
冬 句 の 冬 々 香 中 難 本 や 乃 <sup>アキ</sup> 延 史  
遠 々 々 々 々 帆 香 ひ 々 々 香 子 々 々 <sup>ヒシコ</sup> 茶 公  
時 節 々 々 何 々 々 々 伸 足 後 の 其 月 沛  
雪 積 々 々 々 々 々 々 々 静 之 <sup>イセ</sup> 洒 了  
綿 衣 子 々 々 々 香 々 々 中 船 の じ き <sup>ヒシコ</sup> 松 湖

一

人倫之部

家 々 々 々 々 々 人 々 々 々 々 々 波 同 <sup>エト</sup>  
海 降 々 々 山 降 々 々 々 々 鼻 舟 々 々 呂 叟  
只 々 々 々 々 々 々 産 々 々 々 々 逸 例  
万 華 の 香 々 々 々 々 々 々 々 々 心  
末 の 子 乃 幼 夢 々 々 々 々 々 已 一  
純 香 の 結 々 々 々 々 々 々 寄 英 女

数入や梅子のまゝか人切を色 月多  
 畑打の乃ひおし之をまゆり 伯遠  
 菊子の七条の折り 是へりり <sup>上テ</sup> 白雅  
 有きけの子をほそく四の柱女が 鏡枝  
 とほそくと云通し 一りや一り男 六枝  
 清と暮く万葉 唐く折りり里 儂友  
 初夢と折折り 乃くは舞りり 二三風  
 菊文や名せしうの子に 藤入らる 何香

山越く孫名く事や 皇 魂 斗方  
 浮トそよおし中 年始のうり合せ 青芝  
 数入や 数と 号ゆき 号と 弦 <sup>イヨ</sup> 映門  
 香又入や 号り 是を 僅 合 舞 <sup>サカ</sup> 凡沙  
 三つ 一り 一人 前 あり 終 出 里 <sup>ムツ</sup> 心 阿  
 弓の尾 出く 来きり 節 季 <sup>ヒウカ</sup> い 亭 々  
 加折り 服 時 是 号 影 引く <sup>ヒセシ</sup> 沙 中  
 七種ハ 梅子 喜ひ 々 練 多 <sup>カニ</sup> 岳 臺

子幼之終年ハ打てぬ細う布 <sup>カ子</sup> 嵐湖

今打てぬ其の細布ハ羽人

志中子月より其<sup>工子</sup>かとりう分 <sup>工子</sup> 奇障

細う布ハおしぬ<sup>ヒコ</sup>約場 <sup>ヒコ</sup> 野菓

膏<sup>ヒコ</sup>年志<sup>ヒコ</sup>万歳<sup>ヒコ</sup>進<sup>ヒコ</sup>一<sup>ヒコ</sup>五<sup>ヒコ</sup>太<sup>ヒコ</sup>彦<sup>ヒコ</sup>十席

臨<sup>チカ</sup>也<sup>チカ</sup>〜<sup>チカ</sup>後<sup>チカ</sup>進<sup>チカ</sup>の<sup>チカ</sup>け<sup>チカ</sup>〜<sup>チカ</sup>田<sup>チカ</sup>子<sup>チカ</sup>〜<sup>チカ</sup>五<sup>チカ</sup>石<sup>チカ</sup>外

最<sup>チカ</sup>下<sup>チカ</sup>法<sup>チカ</sup>志<sup>チカ</sup>所<sup>チカ</sup>〜<sup>チカ</sup>母<sup>チカ</sup>の<sup>チカ</sup>物<sup>チカ</sup>高<sup>チカ</sup>〜<sup>チカ</sup>京<sup>チカ</sup>杜<sup>チカ</sup>蓼<sup>チカ</sup>

老<sup>上毛</sup>傳<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>場<sup>上毛</sup>不<sup>上毛</sup>知<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>涼<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>三<sup>上毛</sup>里<sup>上毛</sup>再<sup>上毛</sup>中<sup>上毛</sup>

菟<sup>上毛</sup>始<sup>上毛</sup>下<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>万<sup>上毛</sup>歳<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>初<sup>上毛</sup>年<sup>上毛</sup>竹<sup>上毛</sup>碩<sup>上毛</sup>布<sup>上毛</sup>

時候之部

用<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>出<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>ふ<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>田<sup>上毛</sup>畑<sup>上毛</sup>ら<sup>上毛</sup>子<sup>上毛</sup>魚<sup>上毛</sup>柵<sup>上毛</sup>

初<sup>上毛</sup>年<sup>上毛</sup>や<sup>上毛</sup>月<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>冬<sup>上毛</sup>々<sup>上毛</sup>土<sup>上毛</sup>太<sup>上毛</sup>根<sup>上毛</sup>松<sup>上毛</sup>丈<sup>上毛</sup>

建<sup>上毛</sup>初<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>冬<sup>上毛</sup>を<sup>上毛</sup>越<sup>上毛</sup>さ<sup>上毛</sup>す<sup>上毛</sup>柱<sup>上毛</sup>う<sup>上毛</sup>郊<sup>上毛</sup>魚<sup>上毛</sup>翠<sup>上毛</sup>

尺<sup>上毛</sup>晴<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>心<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>秋<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>是<sup>上毛</sup>如<sup>上毛</sup>琴<sup>上毛</sup>

増<sup>上毛</sup>心<sup>上毛</sup>程<sup>上毛</sup>和<sup>上毛</sup>師<sup>上毛</sup>の<sup>上毛</sup>志<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>冬<sup>上毛</sup>々<sup>上毛</sup>〜<sup>上毛</sup>博<sup>上毛</sup>史<sup>上毛</sup>



春の風新緑おろけ物日和 采砂  
 雲うとあふゆみ千重の雲さか 嵐圍  
 長閑さお花中子きん 龍うか 松居  
 十月や春いさゝきい 水 全方  
 春のふ 雲くくく 雲くく 雀巢  
 罪の日のくく 雲くく 田の砂 草菅  
 欠くく 山子 忍びく 雲くく 文長  
 晴のくく 雲くく 雲くく 多瓢

癖けくく 雲くく 日の出 雲くく 曉鳥  
 持つけくく 雲くく 雲くく 雲くく 雲山  
 本の間 雲くく 法 忍 雲くく 花柳  
 雲くく 人 雲くく 雲くく 雲くく 柳好  
 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 一篇  
 水と雲と 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 洲人  
 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 掛壺  
 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 雲くく 路方

立秋の會坊歌あり存り 五子 吉舟  
 ハ朝也 蔓先まゝのよかる 大垣  
 寺の並山よ里也 若さうか 播磨  
 畑草の生かり 夏川 祖雲  
 濡おら 拙灯のゆく 昇月 椿  
 鏡松の石あり 隙子や 針の完 三十一 梅林  
 是る日ら 小春が 月圓  
 秋の暮下 月よ 月圓

すゝき 毎秋松 葉が 圭布  
 涼し 巾やいと町 小春うら スウ 西域  
 蒼山や 雪のうら ヒセ 雪満  
 細打の秋 千き 路芬  
 切らぬの 秋のうら ムサシ 千瑞  
 蒼と子 陽 一陽  
 水舟や 梅芳  
 ゆく 五渡

孝天や母や父をうかかす  
 有臺  
 孝海やまの川流るる友う流  
 有臺  
 うりうかりを流るる友う流  
 王芝  
 すくしやるるまの流  
 露友  
 休めまの流をうりう流るる友  
 乙良  
 世流ふりう流るる友う流  
 姫山  
 流井りうりう流るる友う流  
 二月ヒツキぞ  
 汝来  
 能流るりう流るる友う流  
 松蔭

今あそびをう流るる友う流  
 如竹  
 能う流るる友う流るる友う流  
 茅堂  
 能合の流るる友う流るる友  
 棟く  
 能う流るる友う流るる友  
 汀秀  
 山くの流るる友う流るる友  
 天山  
 能流るる友う流るる友  
 乙人  
 能の流るる友う流るる友  
 湛く  
 能山をう流るる友う流るる友  
 浮山

葉を屋の蛤釣の中をくぐりて下可之  
 何呈  
 樹村  
 喜島  
 野堂  
 二柳  
 乙雄  
 蝶六

風盤  
 坎巢  
 笛斗  
 松竹  
 遅流  
 遠山  
 杉居  
 玩甫

筑やまの原城く塔寺く  
 梵阿  
 夢と名く折々清きう厚水  
 南行  
 陽春の双紙ありあききり  
上ツケ 蓮塙  
 流は川く干川橋きう清きり  
 三志  
 四不きく産きうう濁くく  
 七号  
 松の葉の法んく馬心清水草  
 素水女  
 清水汲桶のくくく水けり  
 若玉  
 鏡指と申く減くそ中橋の上  
 素三

夢千すく遠の伝く舟の秋  
 西馬  
 湖と名く船きくううれき  
下サ 江月  
 水上のききさ名中流う水  
下 連志  
 一節く日水くあう中  
 粗文  
 山のきうく結くけ志くく  
下 稻州  
 明くあう月く銚くや壱くき  
 太橋  
 日のくくく揚くく  
上ツケ 杜臯  
 其宗さ中鏡おんくく  
サマ 山骨

第烟くや珠を風ゆく浦の家 ノミ 曾夢  
 秋舟中 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 井梧  
 門先へ スルカ 雲移 スルカ 夕 スルカ 夜 碧山  
 春舟と スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 有鱗  
 舟の舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 龍岳 ヒツカ  
 西舟と スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 双馬  
 雲 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 仙沙 チウセン  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 守逸

舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 菱五 チウゴ  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 可淡 カタン  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 桑葉  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 槐堂 カクテイ  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 宣頂  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 露也女  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 里人  
 舟 スルカ 舟 スルカ 舟のゆくさ 菖徑 イヨ

幼終とめんよる宙のあき日サキど 今夏  
つひまゝくまのなまや春の先 民苦  
すしきおとめやちを並言屋アキざ 新池  
あゝまや夜を起くまを 留マミ 楓下  
蒼坊く端 雲やかくを玉ツクリぶ 而後  
なむまよらうらり 留るま本下系屋 月底  
暗いまの生れや行ハ祝あつイセり 雀叟  
好まやまのちを遠くおミカハり 蓮宇

人の行えくまをけを扱ひカり 羊風  
釣針の解けけうまや春の水ヒタキ 百布  
人のあゝらうらゝ 海をカヒぶ 道ホ  
山影の姿とまゝの春の終ヒレコ 柿任  
乳まのあの子のちやうらら 崎 青柑  
春とつらまのち 秋葉や秋の内ナニ 林曹  
下系中 蕨はうららく 春のち 眉岳  
如自やまゝ 踏りおぬ かりイヨ 子 菊圃女

まゆら戸子影の笑へ中向へ山 風外

五節句

昔ふとのこ分 積る中 籠の音 <sup>上テ</sup> 音斗  
驚くまてうく 知へきく 標う中 竹坡  
菊の香や 塵る中 長上下 <sup>下</sup> 千菊  
夕露の影も 暮る中 月籠 籠 芳古  
嫁人の仲人 下 暮る 雖う 卯 <sup>サカ</sup> 丹堂

早く午 燈を小袖 若くふく 静風  
若葉薫より 暮る中 や 年始状 一猪  
蕭公英と 暮る中 一 菖 観堂  
物の方 すすき 中 流る 観る 中 <sup>イヨ</sup> 紫人  
春のあま 思ふ 籠の 中 <sup>ヒメ</sup> 李江女  
酒より 中 酔く 中 上 <sup>上テ</sup> 見水  
春の初 中 雨の 中 雨 雨 <sup>チヨ</sup> 雨凌  
芳菊 新造の 中 披く 中 <sup>チヨ</sup> 宇南



今只書く竹枝くまて何ら當番す 一 狐  
芽振く常くけりる油 四十六 仙 兄  
公整とまをくまの芽の細枝す 晨 支

植物之部

七十里より千穀うけはくくす 龍 風  
江志くくく桑あくく振う邦 綿 枝 女  
子と是の治り宮く成小松が 喜 縁

横きけく川のきくくくく 春 雀  
け城く江めくくすくくく 梅 溪 女  
幼茶や高ハをくくく 茶 辞  
刺枝く大根 茶 味く小樽が 酒 一  
一本子成くく小杉を 悲ひく 秀 在  
梅一敷茶何り香あり 夢子何る 此 扇  
きのふくく振くくくく 此 依 心  
花の山をくくくく 此 依 心  
馬 朝

折々里々押さへて暮るる暮葉は  
 まらき川々香のうらやうの梅 雲秋  
 空作法々星をさへつる土葉は 月窓  
 花の何さうも月福むやち花 関二  
 花好露もみんはあり松の玉 百和  
 昔うけく葉けとや船々ちと 柳 史未  
 空葉や吹く風々々々々花 秋翠女  
 蒼々々々うらやうあり蓮の香 閑山

ち々葉々おくと梅々々梅々々 号伍  
 秋下まらきと香木々々々梅 柳 蟻翁  
 梅の香けりくと松の明々々 徳丸  
 葉々々中結葉々々々葉の正 雨嶺  
 葉々々一重々々々々目と花 洞天  
 小一町言々々通水々々々仲 天由  
 ち々々々々何々々々々々夕 素元  
 掃々々々々々々々々々々葉々 未木

流るる水はわたりて橋を築き  
夕雲を染めて暮らるる橋の草  
麦畑を舐めて其を懐きりり  
まこと思ふありてささるる  
ありて思ふありてささるる  
橋邊の沙き小川や春の中  
まよひの心く柳の夕おろり  
新原のありてささるる  
由誓  
誰草  
唯炭  
得甚  
抱儀  
山外  
雀翁  
英又丸

袂うら水の青も中を流るる  
校と茶も人なれども橋を  
又とわたりて水のくさるる  
又とわたりて水のくさるる  
橋を築きりり  
山崎も人なれども橋を  
月くさるる水も人なれども  
より仙も人の心もわたりり  
かつ女  
三和  
素行  
念く  
荷少  
秋香  
呂川  
露滴

有りの花ははらの星うら子 干路  
 朝ふや来あつての道つる 美 白圭  
 垣せいの垣うら子や柳 雲 謝堂  
 有仙や赤のけきと月の花 應く  
 川音とあつて花の折のり 助宣  
 秋の月と星の始のり人の病 李霞  
 雪の都のりと料理や茶 知雲  
 有りの花うら子 智つるすうり 旬光

二夜三夜揃く書本も花上り 梅可  
 扇公英の雪や掃除の星の夜 大素  
 番ハ木の枝うら子つけく 菊 菊鳥  
 赤門の柳うら子 我赤のうら子 再中  
 二三卒暮るる夜や花うら子 井柳  
 満月の花はさうとあひたり 折牛  
 福寿子十のりさうり 芹島  
 降る程うら子の雪や花子 二蝶

明家のやうなそとに於て梅の香  
 けりし 風の折るく本の香あり  
 枯木や 一町きりり 湯 佛 一亭  
 家二軒とありしもふの何れも  
 山寺や 梅の香あり 基と掘く 即中  
 世の香の跡もなき うちりり 素琴  
 四五編と月と 城より梅の香 雷村  
 ちか見たり 長き谷や 梅尾を 梅通

夕鳥や 香くく 也 憂の 乙 梅 價  
 心遠く けりし 香も 本の 香あり 南 溪  
 香あり 梅の 香あり 日 並 隆  
 梅の香や 香あり 香あり 見 竟  
 子綿の香や 香あり 香あり 多 朗  
 梅さし けりし 香あり 香あり 枝 月 尼  
 香あり けりし 香あり 香あり 十 六 岱 年  
 香あり けりし 香あり 香あり 自 乐

吹雪一柳千飛つて人の影 鼎古  
 赤里のうらみとて去るは去 柳 セマ 冬岐  
 舌の唇とて中のおくまひ 香うゆ 山 岳風  
 折る折る松の葉とてまひらき ハマ 一香  
 露の露乃をけしとておくま イナ 寸風  
 何れとてとて折る ヒセ 寸長  
 春乃や一本柳の匂とて ヒ 春圃  
 中てくく又とて ヒ 木堂

六七里うらみの露の年路が 雪狂  
 水仙や注連うけてある露の口 子菜  
 春柳の若くそ イヨ 露居  
 人うら イヨ 竹外  
 多し イヨ 馬雪  
 遠く イヨ 桂吾  
 露弱 イヨ 素亭  
 折る イヨ 卯角

子と和いしむる多雪の暮うゆ 茶類  
 席より結く月白と不見 ぞ 若桂  
 とよ切く名くより若く本下 雪 山 露  
 路り城をうけ下結ののり極く 米雪  
 危丁の研 歩を足くや切れ、半 太春  
 此道ゆき枯木よりけり柿紅葉 蓼五  
 柳見とく去る人散や晴傳ひ 應吏  
 所くくさる早の足く石二の山サキ 方以

内うくまほめく垣根や春うり 五蕉  
 後りくく春留くくぬけりアヒ 梅堂  
 司人の書き書トヤ本種 吟キイ 閑那  
 著虫を押しけく出く本り夢アヒ 虚白  
 名仙の供り春くや手習子 芦一  
 春うと春子 際あき 春り 草イセ 豊山  
 流り合りけり春の身きやりの春 潮花  
 知くくひいを紫うくけり 杜 梅 眠

あゝさくらさくらあはれくちまの人のつら  
遠近くく忍ぶくわと音一相の茶 湛石  
田舎うぢと家らうぢあゝ本仏の茶 圓穀  
ひとくちくはる茶満くく梅うぢ 雲石  
高かりよはる茶下くく高うぢ こ丸 卓池  
紙拂よ一輪 浮きぬ 梅の茶 流 芝  
牛の寄りく毎日 くらとく本様うぢ 塞馬  
井戸の抄りうぢくある本様うぢ 波 文

掃除くくさゆりましくく萩の茶 青可  
川茶の終くくさあき 茶種うぢ 水竹  
水仙や茶あま村くく花うぢ 玉舟 且松  
香切くく梅くくの茶 踏く 花うぢ 五カ 見路  
梅守 梅守 梅守  
あまの茶うぢ茶うぢ茶うぢ 仙菜  
作山よ茶うぢ茶うぢ茶うぢ 徑路  
冷くく梅くくくく 梅守うぢ 高奉



子亦や登いとまきりほしき道 南郷  
 梅のま百踏 登しつゝかうりりり サカミ 白岭  
 あり雲のよ〜〜名を〜〜梅う草 達美  
 を返すハ胎まきつゝの石、葬びう 気條  
 相一葉と粉一箇の始ま〜〜分 カヒ 嵐外  
 柳う〜〜所り乞垂るや梅のふ 椿翁  
 葉粉う〜〜思ま〜〜伸、紫苑〜〜 風居  
 あり柳 陽子 明とら〜〜香月 招 双士

身塔 登より 茶うけ 高き 終 路 終 高  
 名うき〜〜一 招 色〜〜 田 子 窮 村  
 せう〜〜あり〜〜忍るるや 山 梅 柳 双  
 梅 掛〜〜トウキ 志〜〜 柳 柳 梅 温 危  
 雲〜〜く〜〜思〜〜す〜〜や〜〜と〜〜 登 翁  
 葉 折〜〜き〜〜つ〜〜約の 手 白ひら 旭 山  
 月 道〜〜い〜〜の〜〜〜〜〜 子〜〜の〜〜 蕞  
 あり 程 長〜〜く〜〜と〜〜き〜〜水〜〜色〜〜う〜〜ま〜〜 子 荘 村

登より一信多し 北の志 素明  
 朽りあはれのとまらぬ 香る物 草水  
 種甚しき 味なき 煙りう 邪 奇泉  
 石くく 傘うら 朽くく 花袋 梅里  
 つらうくく 雪 海山 ぶ 氷 魚部里  
 事く 燃く 舟の本の 葉や 二葉之葉 儿由  
 雪 鶴子 く 雪く 石く 朽く 朽一葉 北洋  
 夏くく 葉 ちくく 朽くく 遊 孫

夏より朽色のとまらぬ 由 茶 雑契  
 名仙や 鶴子 日 由を ひとり 前 立 瓢  
 魚香の 味 返 ちくく 花 葉 安 雅  
 葉の 石く 何く 梅の ちくく 飾 素 紋  
 枯草の 朽く 朽く ちくく 飾 茶 山  
 大根 中く ちくく ちくく 海 一 ち 風 号  
 朽ちりて ちくく ちくく 本と 飾 ちくく 席 月  
 葉の 茶や 飾 ちくく 朽く ちくく 梅 士

昔代も偏くふ糸よりうゆ 仙翅  
 以重の端しより仙子落りり里<sup>テ</sup> 由之  
 為<sup>レ</sup>終や石糸をく<sup>レ</sup>所<sup>レ</sup>舟の端 玄子  
 松の下ハ浪<sup>レ</sup>舟さく<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>浪<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>ど<sup>レ</sup> 西粟  
 片色松子松保をうり 森<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>き 仏孫  
 こ<sup>レ</sup>松<sup>レ</sup>舟<sup>レ</sup>若<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>ま<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>こ<sup>レ</sup>や<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>ま<sup>レ</sup>か<sup>レ</sup> 雀鳴  
 掉<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>横<sup>レ</sup>舟<sup>レ</sup>松<sup>レ</sup>舟<sup>レ</sup>浪<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>ど<sup>レ</sup> 梅冥  
 響<sup>レ</sup>着<sup>レ</sup>松の葉<sup>レ</sup>より<sup>レ</sup>浪<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>庭<sup>レ</sup>う<sup>レ</sup>舟 東曉

主

桂<sup>レ</sup>盤<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>や<sup>レ</sup>う<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>葉<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>や 冬<sup>レ</sup>本<sup>レ</sup>立<sup>上ツケ</sup> 白雅  
 茶<sup>レ</sup>ち<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>道<sup>レ</sup> 出<sup>レ</sup>さ<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup> 鳥<sup>レ</sup>う<sup>レ</sup>舟 二橋  
 大<sup>レ</sup>堂<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>ま<sup>レ</sup>み<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>星<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup> かつ<sup>レ</sup>世<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup> 百牙  
 ち<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>不<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>水<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>落<sup>レ</sup>葉<sup>レ</sup>が<sup>レ</sup> 如<sup>レ</sup>女<sup>ムサシ</sup>  
 淋<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>あ<sup>レ</sup>ら<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>松<sup>レ</sup>舟<sup>レ</sup>名<sup>レ</sup>本<sup>レ</sup>立 逸雲  
 新井<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>刻<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup> 阿<sup>レ</sup>や<sup>レ</sup>松<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>ま<sup>上ツケ</sup> 玄外  
 か<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>な<sup>レ</sup>活<sup>レ</sup>鳴<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>す<sup>レ</sup>や<sup>レ</sup>露<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>片<sup>レ</sup> 一朗  
 ね<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>ち<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>ま<sup>レ</sup> 布<sup>レ</sup>月<sup>ムシ</sup>



江少々落々淋々き木の葉が<sup>ネト</sup> 仁宝  
折々木の葉の影のこぼれ流るるが 餘力  
垣の木の葉をふく喉とさへ<sup>ネサ</sup> 酔車  
夕の光のまはるるまの百舎の葉き<sup>ヒシコ</sup> 舎桂  
藤の葉のまはるるや舟の葉のまはるる 寒頼  
那のまはるる人のまはるるまのまはるる 竹堂  
木瓜のまはるるまのまはるるまのまはるる 洋く  
椀か<sup>ヒウカ</sup> 双鳥

門松の上々竹のまはるる<sup>ヒキコ</sup> 一竟  
落々<sup>ヒキコ</sup> 子月のまはるる<sup>ヒキコ</sup> 橋<sup>ヒキコ</sup> 牛  
月落々<sup>ヒキコ</sup> 天晴 梅の招<sup>ヒキコ</sup> 文三  
桐一葉まはるる<sup>ヒキコ</sup> 子瓜<sup>ヒキコ</sup> 只<sup>ヒキコ</sup> 瓢我  
梅上戸のまはるる<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup> 花<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 光<sup>ヒキコ</sup> 垣九  
朝<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 書<sup>ヒキコ</sup> 舟<sup>ヒキコ</sup> 通<sup>ヒキコ</sup> り<sup>ヒキコ</sup> 鳴<sup>ヒキコ</sup> 子<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 空<sup>ヒキコ</sup> 眠堂  
さへ<sup>ヒキコ</sup> 何<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup> と<sup>ヒキコ</sup> 柳<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup> と<sup>ヒキコ</sup> 柳<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup>  
是<sup>ヒキコ</sup> ぬ<sup>ヒキコ</sup> 梅<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup> と<sup>ヒキコ</sup> 柳<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup> と<sup>ヒキコ</sup> 柳<sup>ヒキコ</sup> の<sup>ヒキコ</sup> 葉<sup>ヒキコ</sup>  
稻 木

夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 何處より馬の歩をそなた本と  
 本堂の鬼門 壺の中 夏本を  
 夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 咲出せり毎朝はくやくめの空  
 おうあふりさるる月とせし去草は  
 葉ももふる風を彩や 夏本を  
 夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 其中の月とせし去草は  
 春潮

三言

夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 何處より馬の歩をそなた本と  
 本堂の鬼門 壺の中 夏本を  
 夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 咲出せり毎朝はくやくめの空  
 おうあふりさるる月とせし去草は  
 葉ももふる風を彩や 夏本を  
 夕の暮葉とりの枝より降りたり  
 其中の月とせし去草は  
 春潮

三言



約ありく虹のわきまを基<sup>ニカ</sup> 六蟬  
 湖の何りまきく糸ありつるの初<sup>イセ</sup> 蘭圃  
 子おおく羽子春<sup>カヒ</sup> ちりゆの 糸 素  
 母織る<sup>カヒ</sup> 子<sup>カヒ</sup> さらけ ちり 六 堀  
 信<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 初<sup>カヒ</sup> 観音<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 夕<sup>カヒ</sup> 景<sup>カヒ</sup> 柳<sup>カヒ</sup> 菟<sup>カヒ</sup> 季<sup>カヒ</sup>  
 逢<sup>カヒ</sup> 中<sup>カヒ</sup> ま<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 再<sup>カヒ</sup> 青<sup>カヒ</sup>  
 後<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 正<sup>カヒ</sup> 竹<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 山<sup>カヒ</sup> 骨<sup>カヒ</sup>

ぬく<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 和<sup>カヒ</sup> 風<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 月<sup>カヒ</sup> 平<sup>カヒ</sup>  
 巨<sup>カヒ</sup> 越<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 帆<sup>カヒ</sup> 入<sup>カヒ</sup> 帆<sup>カヒ</sup> 竹<sup>カヒ</sup> 友<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 天<sup>カヒ</sup> 朗<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 声<sup>カヒ</sup> 玉<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 井<sup>カヒ</sup> 泉<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 吾<sup>カヒ</sup> 山<sup>カヒ</sup>  
 ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> ち<sup>カヒ</sup> 范<sup>カヒ</sup> 湖<sup>カヒ</sup>



初風  
初風  
初風  
初風  
初風  
初風  
初風  
初風  
初風  
初風

食類之部

白桂  
未成  
南枝  
月芳  
酒  
酒  
酒  
酒  
酒  
酒

釜吏  
隣山  
竹山  
素樸  
三封  
梅  
温惠  
東宇

割イセこのう情イセく出まイセる西瓜イセがイセ杜蘅

生類之部

冬菜イセまイセく熟イセしイセくイセ波イセむイセ可イセ能イセがイセ 桑丸  
麴イセ麴イセのイセかイセらイセ晴イセまイセてイセくイセ記イセりイセ 永久  
をイセ山イセとイセるイセ海イセをイセ産イセ中イセ形イセ好イセ婦イセ 芳女  
遠イセくイセ来イセるイセ割イセ取イセてイセおイセしイセ部イセ 文イセ老  
とイセるイセもイセ熟イセれイセるイセ婦イセ中イセ形イセ好イセ婦イセをイセ産イセ 雨イセ堂

産イセしイセるイセ梅イセをイセ形イセくイセくイセ記イセりイセくイセ 若海  
晴イセ形イセ中イセ形イセ好イセ婦イセ中イセ形イセ好イセ婦イセをイセ産イセ 康甫  
海イセのイセ方イセ之イセのイセをイセ産イセきイセくイセ婦イセ中イセ形イセ好イセ婦イセをイセ産イセ 竹堂  
榎イセ丸イセくイセ好イセしイセ後イセくイセりイセ子イセのイセ尾イセ 卓阿  
号イセのイセ能イセくイセるイセ毛イセのイセ方イセ之イセのイセをイセ産イセ 大梅  
おイセるイセ程イセのイセ子イセまイセくイセはイセくイセ子イセ 麻イセ護イセ山イセ  
草イセ熟イセくイセ婦イセのイセ子イセまイセくイセはイセくイセ子イセ 丁知  
とイセるイセ方イセ中イセ形イセ好イセ婦イセ中イセ形イセ好イセ婦イセをイセ産イセ 麻イセ交

晴やうよ夜つらひのあき田わさ  
 山 菅  
 相やうら晴く子ひうむる煙う中  
 菓居  
 雛子のあや雀もあはるさうりうり  
 智哲  
 降はるる却く晴うぬ煙ぐ  
 宗明  
 竹のあやあきうさくさうりうり  
 素元  
 晴~~~~山と見あきき~~~~  
 采山  
 けあきのけうう撞や雲の煙  
 溶く  
 あけと~~~~あけや雲晴~~~~  
 湖外

曇つきと斗りのあや好きうさ  
 氷 瓶  
 晴~~~~やあ~~~~と見あき  
 旅下ノリの豆 その女  
 晴~~~~よあ~~~~き屋の物あき  
 杜 簪  
 うらひきの枯木~~~~天あき  
 芳 英  
 少~~~~とあ~~~~き~~~~  
 系 類  
 飛あき~~~~約瓶のあき  
 鳥 九 起  
 田とあ~~~~標~~~~  
 梅 室  
 橋あき~~~~橋~~~~  
 丈 山



きと月とよきくうきまふきか 不 風樓  
 めくはと陸のあつと 枝ひく ニラケ 太布  
 若くや 橋と 吹くも 土る世 サヌキ 常 木長  
 めくの木へ 新くく 芳ぬ 采古 音 洪翠  
 世高れのよきお 手 別里 かんこ 音 茂推  
 以上く 振の 遠く 中 若の 音 イニ 桐 一  
 けりく あり 折く 尺をく 隔る 居 一 幽  
 君の 聲へ 向へ 出る 途子 ぞ 竹外

呈

暮く けり 新く ちく ちく 木の 音 不 月坡  
 若く ちく ちく ちく ちく 折る 音 五冊 氷音  
 音の 若く 鳴る 音 ちく ちく 音 スルカ 漣山  
 折る 音 けり 大 陸を ちく ちく 音 丁 連巴  
 漣 音 新より 音 音 音 音 音 貞山  
 折る 音 音 音 音 音 音 音 サカミ 竹 志  
 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 吳 丁  
 川 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 田 風



昔のよきよき侍りし言が 年緒  
うらひ豆や 神言す分きよき言 テハ 御風  
其の福とこのよきゆき ムツ 晋支  
ふしうらと 波は 清く びの言 ヒメ 花を女  
昔より子 ムツ 子より 蕨の葉 ヒメ 南く  
陣の 柵あり 子言 舟本 言 青圃  
意はのりか と 蜂のふし ヒメ 文を  
子持や ひとりの 蝶より ヒメ 窓口

日のあかり 雲 愁と けく 燈りり 菊亭  
うらひ豆や 表通りハ 表 道 涼松  
さそり ヒメ 水より 鴨り 子より 池の 言 ヒメ 船言  
水うら ヒメ 活死 言の 言 現う 玉布  
暖の言 花 表 跡り ヒメ かく 言 酒言  
折道 ヒメ さす ヒメ 鳴 跡り ヒメ 虫 止り ヒメ 相文  
能子 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言  
藤 ヒメ 葉の 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言 ヒメ 言

号とあしくゆきり元の道名  
 塚の墓とくしり居る柱り亭可考  
 帆子とすく日のちくはく子墓の亭  
 於る中用ありきくよそそくわ  
 坂を打く子の血を啼く泣子下ツケ又く  
 ありり子謝きく約くく後ヨハリ芝石  
 多くく子の墓とやほくくきん  
 号やき向く初とく二羽の亭  
 蓬陽

岳

号上くく号向いり浮高きり柳東溟  
 浦はや山田くそ好く坊一の亭  
 一の墓とくりく永く居る墓の子ヒキ子奇哉  
 号の亭とくおきりの那の大種下ツナ嵐奇  
 秋号の妙くく鴨きくゆりゆり松羽  
 林棚とくおく山とくの中とく号の堀ミカハ完伍  
 号やあひの妙とく母のき法ハリマ壺中  
 くとくはく居るくくんや猫の患  
 耕雲



松文くんの後あつらひや 陸まき チヤク 砂童  
 一人まじりて 持出は坊主りうや 摺栄  
 昔のうらや 枝のあるのき チク 松代女  
 夕暮のうらや 鞠うを 蛙う 池 ヒコ 五辰  
 おうまぬらふ上 曹奴のまか チク 草月  
 空まき チク 不き チク 素兄  
 糸ハ折らう チク 日本 チク 好く  
 又か チク 長靴

昔く チク 本 チク 斗  
 弱く チク 雀  
 又 チク 十  
 今の糸とおふ チク 文英  
 新を チク 書  
 心 チク 富  
 朝 チク 玉  
 ち チク 陵  
 ち チク 花  
 ち チク 山

とうらふくち 樹のうらふくち 樹のうらふくち  
 子 銀の布 暮の浪 志のり  
 果のり 午のうらふくち 子のとけり  
 大空とまをか 樹のとん 不  
 片のうらふくち 樹のとん 不  
 心のうらふくち 樹のとん 不  
 名のうらふくち 樹のとん 不  
 振のうらふくち 樹のとん 不

若高 小磨 松我 素好 一函 花孫 松玉 梅蓮

吳

二月のうらふくち 樹のとん 不  
 秋のうらふくち 樹のとん 不  
 春のうらふくち 樹のとん 不  
 真足 椿風 十枝女 佈月

友のうらふくち 樹のとん 不  
 友のうらふくち 樹のとん 不

ゆゑに世道の如くさかす  
よはれちるらんあまをらん

改々鳴り傳ふの詩が葉　うは

竹烟

よ山不とくく青く常夏の花　言斗

催合井の釣瓶と山の影もなほ　雷村

見さやうなほとあなぬ人への　廻道

昔縁ながら山と池と松むらゑ　竹坡

苔の匂　びら　つ　ま　ゆ　月　撫

ハ　の　透　り　か　き　月　の　照　芦　十

寺　の　香　と　き　き　組　板　の　音　筆

根　を　よ　み　藏　き　と　ん　て　茶　せ　る　意　椿　笠

苔　の　脚　筋　と　池　岸　の　つ　く　曉　烏

也　す　と　地　か　て　心　事　の　長　堤　梅　窓

庭　板　の　外　の　つ　ら　ね　小　生　友　帝　月

夏　庭　を　傍　草　花　と　せ　し　ら　る　魚　翠

日暮子思ふ子と書は流  
 祖沙堂ハ一抱えある杉の葉  
 石鏡さく子 秋葉と 馬  
 晴く其の自ら 秋葉とさく子より  
 葉望人を 鶴ハけく ます川  
 臨延を 是より 流りと 葉 白  
 終 葉 公 大 大 の 書 くる 其 む  
 子 子 又 於 ころ 不 子 ころ 身 有  
 蓮 孫

川の流るる 春の 雨竹  
 代 垢 離 ち 汝 と 志 水 の 立 合 せ 子 同  
 子 士 上 如 ら け 子 ち 四 五 人 瓦 雨  
 流 け 船 ち かく 其 こと 好 意 ち 記 豈 朗  
 内 瑞 生 生 色 の 一 の 葉 ち ち 旭 浪  
 考 の 春 香 前 より 香 つ ち ち 菘 菖  
 の 川 と 山 日 と 春 ち ち 石 露 の 葉 柳 好  
 好 菊 ち 野 ち ち 陣 子 ち ち ち 嵐 圃

あまのうら 雲むねの塩 中紀 新菓  
 夕立乃 捲板切らりと 捲 蟹り 稻未  
 月まき 海へ 捲 ささき 春 一葉  
 扈從鳴るを 鶺鴒の 歩 光へ 二三風  
 秋の 乾き乃 夏 さら づく 涼瓜  
 窮屈を ちるえり 刀 根の 下り 船 夏木  
 性ありと かく 素 肉と 口やく 豊山  
 侍り 兼子 終り 續 著 引 ちり 春 沼

柔り日 妙ぬ 西 海 東 紫 夏  
 降り 以て 時 句の 二 冬 二 冬 二 蝶  
 何れ 埋ん じ 生 葉 矢 ち 里 坂 井  
 妾と ちり ちり ちり ちり 立 まり 曾 兆  
 妙音 傳の 巧み ね あり 見え 侍 幸  
 わる くら 堅 川 筋の 後 出 女 庵  
 月 見の ちり 又 帳 ちり ちり 井 雨  
 明や ちり 月 折の 端 齋 ふ ち 里 耕

書茶ふら女新ハ格不  
 素好  
 志悪不栗山楠と大る  
 切り  
 子持鳥子  
 唐振と切ら  
 魚  
 菜畑ハ丸ヲ切ら  
 籠の志  
 日尔さく  
 切ら  
 約買の  
 印  
 三ツ  
 熱乃  
 呪い  
 利る  
 ぬ  
 五月  
 旬  
 真足  
 拙路  
 蛭より  
 蛇の  
 笑  
 以  
 滑  
 谷  
 梅  
 遅  
 手細  
 子  
 志  
 く  
 以  
 是  
 利  
 不  
 下  
 地  
 意  
 答  
 答

男まきりの操きく  
 ぬく  
 花  
 餅  
 寄養  
 母と  
 やり  
 今  
 二  
 中  
 へ  
 口  
 蓮  
 堀  
 炮  
 縁  
 蕪  
 子  
 鴨  
 乃  
 た  
 へ  
 切  
 花  
 賊  
 花  
 高  
 是  
 者  
 の  
 切  
 り  
 其  
 切  
 者  
 の  
 月  
 涼  
 水  
 所  
 留  
 方  
 の  
 う  
 ら  
 へ  
 切  
 ら  
 書  
 書  
 松  
 土  
 切  
 ら  
 毛  
 け  
 一  
 ツ  
 意  
 志  
 を  
 切  
 り  
 出  
 来  
 方  
 布  
 所  
 切  
 ら  
 大  
 水  
 の  
 切  
 柳  
 高  
 名  
 噴  
 子  
 池  
 子  
 の  
 坂  
 登  
 毛  
 切  
 ら  
 書  
 書

世の所記 悉と稱し 徳行ふ 玉陵  
 産物との徳と志とありて 悉 油 標 豊  
 啓名 取きし といや 分 厚 呂 葵 賤 堂  
 三  
 不とくき 二の 舞い 川 句 入 文 英  
 標し せし 子 出 留 の あり 松 夫

右一頂

快  
温